りんご販売キャンペーン

Photo report

【JAみっかび】

1月14日、静岡県浜松市にある三ケ日町農協で第41回農協祭が開催され、JA相馬村産リンゴの即売も行われた。当日は天候にも恵まれ、朝早くから多くのお客様で賑わいを見せた。

会場では「サンふじ」と「王林」が販売され、当JA職員が試食を通して飛馬リンゴの美味しさをPR。10kgDB50ケースがあっという間に完売した。やはり、サンふじを手にするお客様が大半であったものの、王林の試食を積極的に行ったことで、王林本来の深い甘味も好評を得る結果となった。

JAみっかび 後藤善一 代表理事組合長を筆頭にガンバロー三唱で一丸となって開幕した

1個100円でバラ売りされたほか、1箱（10kg）で購入するお客様も多かった

当JA職員が美味しさをPRし、多くの人が購入してくれた

三ケ日みかん

中京圏を中心に高いブランド力を誇る三ケ日みかん。三ケ日町は静岡県最大の産地で浜名湖北部の南向き斜面に産地が広がっている。

主力品種の「青島」は、糖度が高く、適度な酸味があり、濃い味のコクのあるミカンとして人気。ミカちゃんマークが目印であり、近年では機能性表示食品としても注目を集めている。

当ＪＡりんご評価委員が東京で飛馬リンゴをＰＲ

【西友／関東地方】

1月28日、東京都西友各店舗において当ＪＡりんご評価委員5名がリンゴ販売キャンペーンを行った。

このうち、西友練馬店では三上均さん（水木在家地区）が店頭に立ち、試食を勧めるなどして飛馬リンゴの美味しさをＰＲした。売場には、鮮明な赤い色のサンふじ40玉を中心に王林・シナノゴールド・ジョナゴールド・金星が色鮮やかに陳列され、金星については1個177円（税抜）、他三品種についてはそれぞれ1個117円（税抜）で販売された。金星については高級感、他三品種については値頃感のある印象となったようだ。試食については消費者から食味が良好という好評を沢山いただき、試食を勧めるたびに多くのお客様が飛馬リンゴを買い求めていた。また、2日続けて足を運んでくれるリピーターも多かったことが印象的なキャンペーンであった。やはり、色鮮やかなサンふじは見た目で食欲をそそるだけでなく、甘味と酸味が絶妙にマッチした人気品種であることから、消費者の心を掴むリンゴであることが伺えた。

当ＪＡは、今後も全国に美味しい飛馬リンゴを届けるとともに、消費者が求める高品質生産・販売に取組んで参ります。

見るからに美味しそうな飛馬リンゴがずらり